



アトリエのある子ども園

3歳5歳7歳は、子どもの成長の節目といわれますが、そのときを健やかに過ごせたことを喜び、お祝いをする行事が「七五三」です。地域によって多少異なりますが、男子は3歳と5歳、女子は3歳と7歳にお宮参りをします。また千歳飴は、江戸時代に江戸の浅草の飴屋が考案し、長生きするようにという意味で細長くつくられたものです。

園では、“たくさんの人に見守られて大きくなったことへの感謝の思い”と、“みんながいつまでも元気で幸せに”という願いをこめてお祝いします。



勤労感謝の日

11月23日



勤労感謝の日は、昭和23年に「勤労を尊び、生産を祝い、国民がお互いに感謝し合う日」として制定されました。よりよい社会を実現するためには、人間はお互いの勤労によって生活していること、お互いに感謝し合わなければいけないことを子どもたちにも知らせていきたいと思います。そして、小さいながらもお手伝いをしようという意欲を持たせることが大切です。すいこうの子どもたちは、お手伝いが大好きです。



朝夕は肌寒いのですが、日中は、汗ばむこともあるため、体調を崩してお休みをするお子さんも見られますが、幸いなことに「コロナもインフルも陰性でした。」という報告を受けています。これからは下痢嘔吐などの感染症も増える時期です。いずれも予防対策は、手洗いうがい・マスク着用・換気などですので、油断することなく、引き続き感染対策に努めながら、楽しいあそびを展開してまいります。

今年2月に新園舎になり、9か月が過ぎましたが、一番大きく変わった楽しいあそびの環境は、アトリエがあることです。園舎を設計する段階から「子どもたちのあそびが継続できる空間がほしい」とつぶやいてきました。あそびの途中でも「また明日続きをしよう」と、続きを約束してあげられる空間があること、そして、保育室だけではなく、自分のやりたいあそびを選択できる空間があることで、子どもたちはさまざまな活動に主体的に関わっていけるのではと思ったのです。そうして実現した「アトリエ」です。アトリエを担当した職員は、どんなあそびが展開し、子どもたちはどんな表情を見せてくれるのかワクワクしていたようですが、実際にスタートすると、「何をどのように準備をしたらいいんだろう」「子どもたちは、本当に楽しんでくれるのか」などと戸惑いも出てきたようです。でもそれを払拭してくれたのは、子どもたちです。子どもたちも初めは戸惑っていたものの、空き箱や広告などの廃材を使って作りたいものが作れたり、スライムにボンドを入れるとどうなるんだろうと実験をしてみたり…。アトリエで遊ぶ楽しさを発見していました。ほんの一部ですが紹介します。

エピソード1

小さいクラスのお友だちは、お兄ちゃんたちがやっていることが不思議でたまりません。うさぎ組のSくんは、お姉ちゃんたちが使っていたトンカチに興味を持ってじっと見えています。S君に気付いた年長児のHちゃんは、「やってみる？」とSくんにトンカチを渡しました。先生たちは、ハラハラして見ていたのですが、Hちゃんは、「ここを叩くよ」と言いながら、釘を支えてあげていました。自分の手を叩かれるかもと言う心配より、S君のやりたい気持ちを満たしてあげたかったのだと思います。そうした異年齢での関わりが随所で見られ、ア

トリエだけではなく、園庭や朝夕の合同保育の場でも小さいお友だちに、はさみの使い方など優しく教えてあげる姿が見られるようになりました。

エピソード2

年少児のYちゃんは、アトリエが大好きで毎日アトリエで満足するほど遊んでいます。その日も年少さんが給食を食べる時間になっても、年中さんの給食時間になっても遊び続け、結局Yちゃんは、年長さんと満足するまで遊び、自分でお片付けをして、給食の準備もして年長さんと一緒にレストランになっているホールに降りてきたのです。Yちゃんは、「楽しかった。おなかすいた。」と大満足で、給食もよく食べていました。お外あそびをして体を動かしたのではなくても、集中して遊び込んだ後は、おなかすくようでYちゃんは、給食をよく食べるようになりました。

アトリエでのエピソードは、まだまだたくさんあります。虫が大好きで、制作あそびにあまり興味を持っていない年長のS君。アトリエで虫のキーホルダーを作っていると聞いてアトリエに来ました。それから空き箱を使っての虫かご作りなどを楽しむようになりました。あそびは色々な方向へとつながり、広がっていくのです。何よりうれしいことは、子どもたちが主体的に取り組んでいることです。アトリエ担当の職員がいなくても年長さんは、今日遊ぼうと思っていたこと、昨日の続きなど自分で準備をしています。その姿は、いろいろな生活の場面でも見られるようになりました。

アトリエでの活動が始まってまだ半年ですが、子どもたちのあそびを考え作る力、お友だちを思う優しい心、最後までやり抜く力など、私たちが想像していた以上に子どもたちの中にさまざまな力が育まれているのだと思います。11月2日は、姉妹園の職員とともに『アトリエのある子ども園～非認知能力を育む環境について考える～』というテーマで研究発表を行います。姉妹園の先生方との学びが子どもたちにとって、より楽しい環境となり、心身ともに豊かに育っていく手立てとなればと願っています。当日は、午後から開催することとしております。1号認定さんの送迎などでご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いします。

園長 上原玲子

すいこうわくわくランドは今年も楽しいよ！！



今現在、園内にコロナに感染した方などがおられない事、地域でも大きな感染情報がないことなどから、カレーや炊き込みご飯などの販売を予定しています。給食の試食会などができず、給食を召しあがっていただく機会もないので、ぜひこの機会に子どもたちの人気メニューをご賞味いただければと思います。



コロナ過での行事について

10月に開催した運動会は、コロナが流行する以前のプログラムとほぼ同じ内容で行うことができました。皆さん感染の不安などがあつたのではないかと思います。体調管理などに気を配っていただいたおかげかと感謝しております。

園生活において、日々の活動はもちろんですが、行事は、お子さんの成長を実感し、親子で楽しく過ごしていただく機会として大切に思っています。

すいこうでは、コロナ禍であっても地域、園内の感染状況に合わせ、できる限りの感染対策を取りながら、日々のあそび、行事に取り組んでいきたいと思っております。園内の感染状況によっては変更もありますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

